

保育所の定員増や保育士確保が実現。  
ネット上で保育所の空き状況が  
確認できるようになりました。

結果、待機児童が209→21名に減少。

(令和元年) (令和5年)

隠れ待機児童数を減らすことが次の課題です。  
(利用保留児童)

子ども医療費を窓口で負担するのは、  
全国で鹿児島だけ。

引き続き、子ども医療費の  
窓口負担ゼロに取り組んでいきます。



子どもが安心して暮らせる街は、  
すべての人が安心して暮らせる街。

との思いで、公園や地域を  
定期的に点検。週末のゴミ拾いで  
安全確認や、いち早い問題改善に  
取り組んでいます。



見捨てない!見逃さない!  
いち早い不登校対策を目指します。

ICT(情報通信技術)環境整備による  
リモート授業や、いじめ・不登校にまつわる  
「新しい対応マニュアル」の導入など、  
早期の対応実現に力を入れています。

鹿児島市による  
児童相談所を設置予定です。



## にし よう すけ 西洋介プロフィール

昭和51年(1976年)  
鹿児島市生まれ 47歳  
・市立草牟田小学校  
・市立城西中学校  
・県立鶴丸高等学校  
・鹿児島大学 法文学部  
・野村證券株式会社  
・衆議院議員 秘書  
現在  
・原田学園 法務部長  
・行政書士



# 子は宝、親も宝。



あなたの声を  
聞かせてください!

西洋介オフィシャルサイト  
[yousukenishi.jimdofree.com](https://yousukenishi.jimdofree.com)

小さなお悩み、質問、相談…  
お気軽に「目安箱(お問合わせ)」へ  
ご投稿ください!  
小さな問題も大きな問題も  
解決策は必ずあります!



LINE  
西洋介  
後援会LINE



こちらから  
オフィシャルサイト・  
各SNSへアクセスできます



WEB, SNSで  
情報発信中



## 西洋介後援会

〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目22番14号  
TEL:050-3395-5524 FAX:050-3730-2206  
MAIL:yousuke\_nishi@icloud.com

UD FONT

見やすく読みまちがいにくいユニバーサル  
デザインフォントを使用しています。

後援会資料共用

責任者/西洋介 鹿児島市草牟田1丁目22番14号  
印刷/株式会社シイツウ  
鹿児島市下荒田1丁目1-20 ぞうごビル2F

# 汗をかき、 声を聞き、



# にし よう すけ 西洋介

市民のみなさまから  
寄せられた **声**

待機児童問題は  
どこまで進んだの？



**声を聞き、汗をかく。**

令和2(2020)年4月の市議会議員初当選から、まもなく任期満了を迎えます。私はこれまで少子化・子育て支援政策を中心に据え、活動してきました。その中で大切にしてきたのは、「**未来を担う子どもたちのために何ができるのか**」と、「**子育てを社会全体でどのように支援していくのか**」の2つの視点でした。私は、子どもへの投資を未来への投資と捉えており、この投資が経済と社会保障の向上にもつながると信じています。

若い世代が地元で働き、安心して子育てができる「ふるさと鹿児島」を、多くの市民が望まれているのではないのでしょうか。

地元で親がいる、子どもがいる、孫がいる——

まさに「**子は宝、親も宝**」の社会を実現するため、以下の10の政策に引き続き取り組んでいきます。

これらの政策を通じて、パラマキ的な手法ではなく、少子化対策と子育て支援政策の一点突破から、鹿児島市の更なる発展に貢献したいと考えています。大好きな地元のために、愛する鹿児島市のために、声を聞き、汗をかいていきたいと思います。

皆様のご指導、ご助言、ご後援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

西洋介

近くの公園で  
安心して  
遊ばせたい



いじめや  
不登校児の  
対策を急いで！

誰にも話せないことを相談できる  
「**子育ての  
相談窓口**」が  
ほしい…



① **子ども医療費の窓口負担ゼロ**

現物給付方式\*1の対象拡充を目指し、受診控えによる重症化を防ぎ、子どもの命と健康を守ります。

② **待機児童ゼロ**

保育所や児童クラブ等の「利用待機児童数」「利用保留児童数」減少に努め、子育て世帯の就業や、育休からのスムーズな復帰を支援します。

③ **義務教育における基礎学力の向上**

子どもの将来の可能性を拡げ、教育費の負担軽減を図るため、ICTの活用で小・中学校の学習環境を整備。子どもの基礎学力の向上に努めます。

④ **いじめゼロ**

子どもの教育を受ける権利、何より「命」を守るために、適切速やかな対応で「いじめ撲滅」を目指します。

⑤ **不登校児童の支援**

オンライン授業や校内フリースクール、スクールカウンセラー等の充実など、今まで以上の支援で子どもの教育を受ける権利を守ります。

⑥ **鹿児島市による児童相談所設置**

子どもの健やかな成長を守り、悩みを抱えた保護者等を支援するため、鹿児島市独自の児童相談所の設置に向けて取り組みます。

⑦ **発達障害等の支援**

発達の偏りや障害を抱える子どもたちの成長と、そのご家族を支援するために「診断前支援」の継続と質の向上、安定的な支援継続に取り組みます。

⑧ **子どもの安全と渋滞緩和のための道路整備**

通学や送迎の安全、負担軽減につながる「渋滞緩和」のための道路整備を目指します。

⑨ **子育て応援企業の支援**

若い世代の雇用や所得を守るために、次世代に残したい企業の支援に努めます。

⑩ **子どもや高齢者、避難行動要支援者等への災害時避難支援**

8・6水害を教訓として、桜島の大規模噴火や風水害から子ども等の安全を守るために、災害時の避難啓発に取り組みます。

\*1医療機関窓口で保険証と市が発行する、受給者証を提示するだけで無料で医療サービスを受けることができるしくみ